



第2回 磁性アタッチメントインプラント学術大会

2018年11月11日(日)
丸ビルホール(東京駅2分)定員 350名

2012年に六本木ヒルズにて盛会に開催されました第1回磁性アタッチメントインプラント学術大会から5年がたちました。第2回の開催が期待される中、このたび場所を東京駅すぐの丸ビルにて開催が決定いたしました。詳細はおつて下記HPに掲載します。是非予定をあけておいて下されば幸いです。

大会長 田中譲治



教育講演:水谷紘先生 「元日本磁気歯科学会会長」
「磁性アタッチメントの国際標準規格(ISO13017)制定・発行」



特別講演:前田芳信先生「大阪大学大学院歯学研究科 特任教授」
「インプラントオーバーデンチャーで超高齢社会を救えるか?」



大会長講演:田中譲治 「MACS研究会 主宰」
「磁性アタッチメントの積極的活用法 成功のための7つの勘所」

<シンポジウム>



小坪義博先生 「K&N-unity 主宰」
「インプラントオーバーデンチャーの臨床～ロケーターとマグネットの比較～」



鈴木恭典先生 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座 講師
「補綴難症例に対するインプラントデンチャーの臨床」



金澤学先生 「東京医科歯科大学 高齢者歯科学分野 助教」
「臨床研究から考えるインプラントオーバーデンチャー」



亀田行雄先生 「有床義歯学会 会長」
「IARPDにおける磁性アタッチメントのデザイン」

<一般講演>

水口稔之先生:「無歯顎症例においてコストを抑えたインプラント治療の幾つかの設計について」

藤野修先生:「IODの長期経過症例から得られた知見について」

松嶋典彦先生:「インプラントオーバーデンチャーにおける下顎位の決定法」

坂田輝之先生:「咬合崩壊症例におけるマグネットオーバーデンチャー活用に関する臨床報告」

※演題は仮演題ですので変更の際はご了承ください。

